



## エコ・ファーストの約束(更新書)

環境大臣 細野 豪志 殿

株式会社 電通

代表取締役社長執行役員

石井 直

株式会社電通は、広告サービスを始めとしたコミュニケーション活動を推進する企業としての社会的責任を踏まえ、法令順守を徹底するとともに、パートナー企業の環境コミュニケーションを積極的にサポートします。その活動を通じて国民一人ひとりの環境意識の醸成と実践につなげるため、以下の取り組みを進めてまいります。

### 1.環境コミュニケーションを積極的に推進し、社会に広めていきます。

- 「DENTSUグリーンイベントガイド」や「グリーンウォッシュガイド」など、環境コミュニケーションに必要な各種ガイドブックを作成し積極的に活用することで、環境負荷の低減や関係者の環境意識啓発に努めると同時に、適正な環境コミュニケーションを社会に広めてまいります。
- 広告電通賞における「環境広告賞」の表彰により、企業の環境に関するコミュニケーション活動を支援し、啓発活動に努めます。
- 国連が協力し国際広告協会(IAA)が主催する「IAA電通世界学生ポスターコンペティション」に協賛します。全世界の学生を対象に、「環境問題」をテーマとしたポスター制作を広く呼びかけることで、若い世代の環境問題への意識を高めます。

### 2.次世代の環境コミュニケーションや、社員の環境への取り組みを支援します。

- 電通の社会貢献活動である「広告小学校」は、CMづくりを通して子どもたちのコミュニケーション力育成を目指す教育プログラムです。社会の課題に広く目を向ける公共CMづくりのユニットにおけるテーマのひとつとして、「環境」も取り上げていきます。
- 社員の「環境社会検定試験(eco検定)」の受験、資格取得を積極的に支援します。
- 社員とその家族から「環境スローガン」を募集し、優秀作を社内クリエイターによりポスター化し、年間を通じて社内に掲示します。

### 3.グリーンなオフィスを、より進化させていきます。

- 省エネ設備投資や運用上の対策の継続的実施、クリーンエネルギーの導入などにより、オフィスからのCO<sub>2</sub>排出量を2003~2004年度平均(\*)に対して2015年度までに21%削減を達成します。
- 廃棄物リサイクル率を2003~2004年度平均(\*)の70.3%から2015年度までに90%以上に向上させます。事務所内の分別ルールの徹底や、生ゴミリサイクルなど処理工程の改善により再資源化の領域拡大に積極的に取り組みます。
- 本社ビルに付帯する商業施設「カレッタ汐留」と協力して、省エネ設備改修や廃棄物リサイクル促進などを通じて、エコ商店街化を推進します。

(\*) 汐留本社ビル竣工直後の2年間

株式会社電通は、上記取り組みの進捗状況を確認し、その結果について定期的に公表すると共に環境省へ報告します。